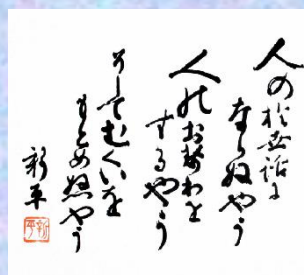




後藤新平記念館通信

奥州市立後藤新平記念館

R8 年 6・7 月号



【自治三訣】

第 21 回生誕祭 ～169 回目の生誕を祝い、功績を讃える～

6 月 4 日は後藤新平の生誕の日です。後藤新平は安政 4（1857）年 6 月 4 日陸中胆沢郡塩釜村（現在の奥州市水沢）で生まれ今年で 169 回目の誕生日を迎えました。安政 4 年はペリーが浦賀に黒船で来航して 4 年後のまさに風雲急を告げる幕末へと向かうころになります。

毎年 6 月 4 日には、後藤新平顕彰会（佐藤彰博会長）主催による生誕祭が吉小路の後藤新平旧宅を会場に開催され今年で 21 回目となります。今回の生誕祭は新田伸幸奥州市副市長、阿部加代子奥州市議会副議長をご来賓に迎え、オープニングは認定こども園日高ななつ星ゆり組のお子さんたちによる元気なお遊戯「パプリカ」と自治三訣の唱和で始まりました。そして毎回恒例の記念講話は、花巻新渡戸記念館の嶽間澤茂館長が「新渡戸と花巻」という演題でお話をして下さいました。また今回も女声合唱団椿の会の皆様による「ゆかりの巨像」が演奏され、参列者一同改めて後藤新平の生誕を祝い、功績を讃える生誕祭となりました。



日高ななつ星園児の「パプリカ」



椿の会の合唱「ゆかりの巨像」



嶽間澤館長による講話

後藤新平顕彰会～後藤新平の功績を顕彰し継承発展～

後藤新平顕彰会の第 25 回定時総会が 5 月 12 日（火）水沢地区センターを会場に開催されました。ご来賓に新田伸幸奥州市副市長をお迎えご祝辞をいただき、また、菅原由和奥州市議会議長からはお祝いのメッセージをいただきました。総会では、4 つある部会を 2 つに整理統合すること、副会長をはじめとする役員の改選を行い、新体制による令和 8 年度の活動がスタートしました。現在の会員数は個人 109 人、団体 10 団体となっております。

顕彰会の主な活動は、会報「後藤新平顕彰」の年 1 回の発行、後藤新平にまつわる記念館等の視察交流、後藤新平の著作を朗読し理解を深める輪読会、記念講演会の開催、そして生誕祭の開催などがあり入会は随時受け付けております。

顕彰会の皆様には日ごろから記念館の運営にご支援ご協力いただき感謝申し上げます。



出前授業

6 月 11 日（木）、館長による出前授業が江刺ひがし小学校で行われました。奥州市では今年度から「ふるさと学習」として、市作成テキストをもとにふるさと奥州市について学ぶ授業が始まりました。当日は、6 年生が後藤新平について学ぶ時間として「板垣退助遭難事件」「日清戦争検疫事業」「関東大震災復旧から復興」という 3 つの柱で授業を行いました。同じ奥州市でありながら今まであまり知ることのなかった後藤新平の功績について知ってもらい学んでもらう良い機会になりました。ご要望があれば学校や職場に出向いて出前授業（講話）を行います。当館までお問い合わせ下さい。



6 月 7 月休館日 6 月 1 日（月）、8 日（月）、15 日（月）、22 日（月）29 日（月）7 月 6 日（月）、13 日（月）、21 日（火）、27 日（月）